

第3章 環境指標の把握と評価

第4節 地盤沈下



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 三郷中央ロータリークラブ賞 鷹野小学校 渋谷 美咲 さん

第 4 節 地 盤 沈 下

1 地盤沈下調査

(1) 地盤沈下変動量

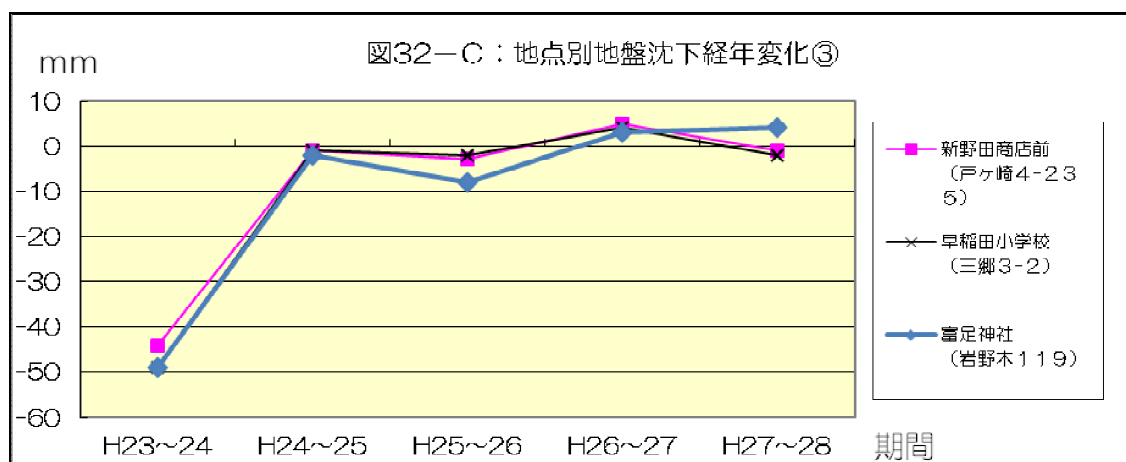
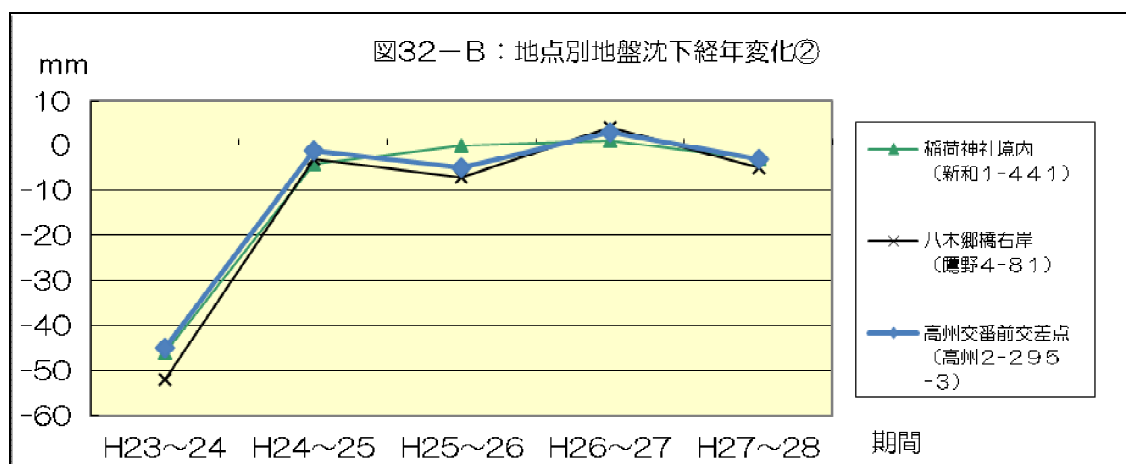
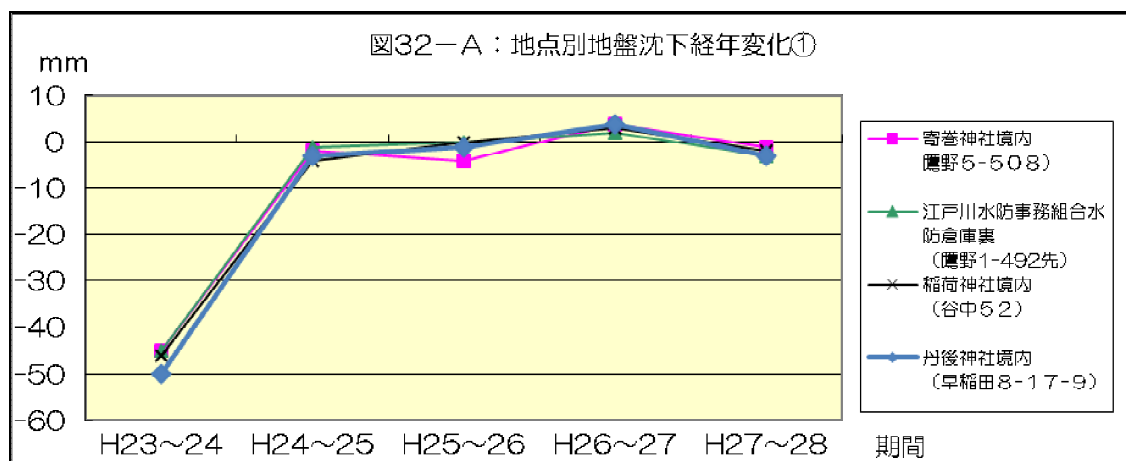
三郷市の地盤沈下に係る調査は、埼玉県が市内 10ヶ所の地点で測量調査を行なっている。
その調査結果は表 32 及び図 32-A・B・Cのとおりである。

地盤沈下変動量 [単位：mm] (表 32)

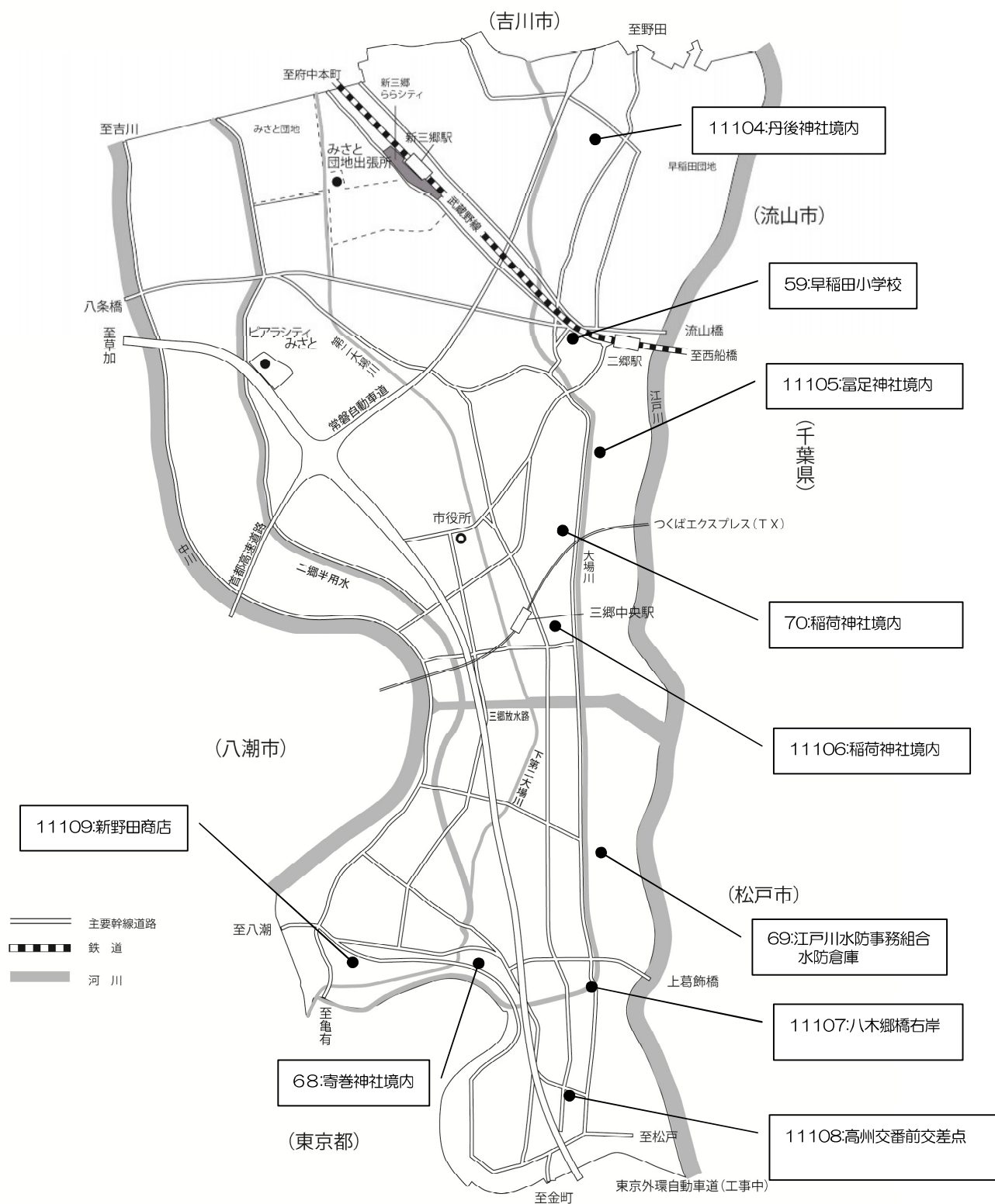
(埼玉県地盤沈下調査報告書)

基準番号	目標・所在地	調査開始	調査開始 時の真高	H25~26	H26~27	H27~28	過去5年間 の変動量	調査開始か らの変動量	H28. 1. 1の 真 高 (m)
68	寄巻神社境内 (鷹野5-508)	S36. 2. 1	2, 750	-4	+4	-1	-46.8	-975.8	1.7516
69	江戸川水防事務組合水防倉 庫 (鷹野1-492地先)	S36. 2. 1	2, 041	0	+2	-3	-46.7	-913.3	1.6440
70	稲荷神社境内 (谷中52)	S36. 2. 1	2, 360	0	+3	-2	-49.8	-1004.2	1,3316
11104	丹後神社境内 (早稲田8-17-9)	S36. 2. 1	2, 672	-1	+4	-3	-52.7	-130.7	2.5172
11106	稲荷神社境内 (新和1-441)	S36. 2. 1	2, 980	0	+1	-3	-52.3	-1026.3	1.9302
11107	八木郷橋右岸 (鷹野4-81)	S36. 2. 1	2, 371	-7	+4	-5	-63.8	-782.0	1.5654
11108	高州交番前交差点 (高州2-295-3)	S36. 2. 1	3, 295	-5	+3	-3	-50.4	-426.6	2.6063
11109	新野田商店前 (戸ヶ崎4-235)	S36. 2. 1	2, 645	-3	+5	-1	-43.9	-803.9	1.8192
59	早稲田小学校 (三郷3-2)	S58. 1. 1	2, 380	-2	+4	-2	-50.1	-45.4	2.3103
11105	富足神社境内 (岩野木119)	S36. 2. 1	3, 295	-8	+3	+4	-52.3	-223.4	3.0304

※過去5年間の変動量は、それぞれ各年度の変動量について、小数点以下も含めた実数を合計した後、各年度については再度小数点第1位で四捨五入しているため誤差が生じている箇所もある。



(2) 地盤沈下測定地点図



(3) 地下水揚水量

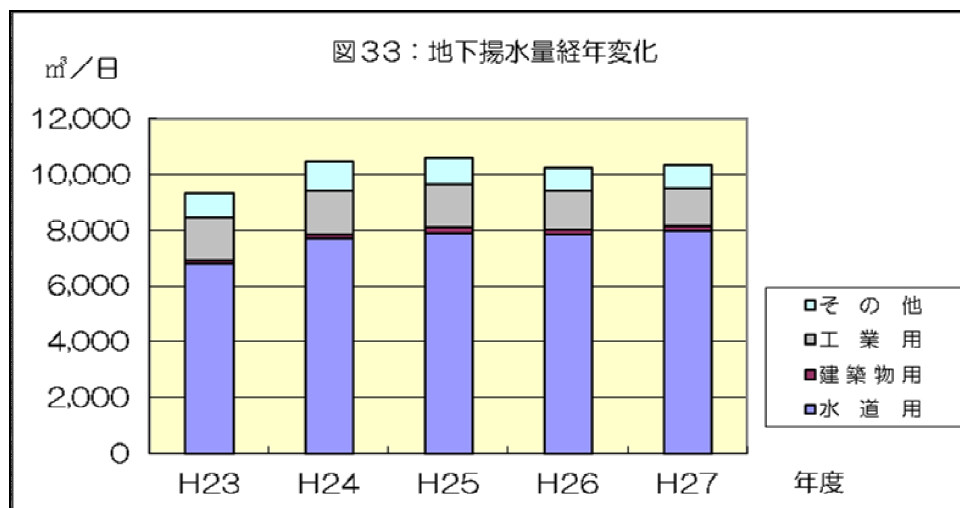
地下水揚水量は、表 33 及び図 33 のとおりである。

水道用 7,993m³/日、工業用 1,370m³/日、建築物用 161m³/日、その他 806m³/日で、計 10,330m³/日である。水道用以外の項目は、前年度に比べて減少した。

地下水揚水量全体では、60m³/日の増加であるが、過去5年間（図 33 参照）の経年変化は、ほぼ横ばいである。

地下水揚水量経年変化（表 33）[単位：m³/日]

項目・年度	25年度	26年度	27年度
水 道 用	7,918	7,859	7,993
建 築 物 用	182	170	161
工 業 用	1,549	1,413	1,370
そ の 他	945	828	806
計	10,594	10,270	10,330



第3章 環境指標の把握と評価

第5節 苦情処理状況



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 I K E A新三郷賞 早稲田小学校 比嘉 心愛 さん



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 道路環境賞 瑞穂中学校 黒坂 美桜 さん

第 5 節 苦 情 処 理 状 況

苦情処理の概要

苦情処理件数（表 34 及び図 34 参照）は、年間で 120 件あり、このうち、典型 7 公害（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）についての苦情が 33 件、その他が 87 件である。

近年では、騒音と振動等の複合型公害の苦情が増加の傾向にある。騒音や振動を発生する施設や作業を行う事業者の近隣の住民のかたへの十分な配慮が求められている。

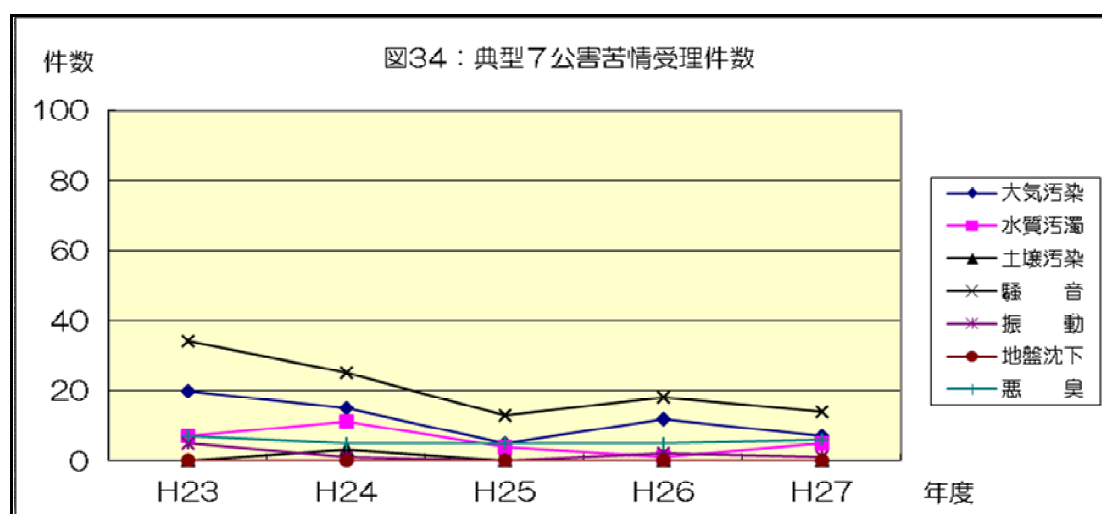
その他の苦情については、ほとんどが雑草の繁茂によるものである。あき地の所有者や管理者の適正な管理が求められている。

年度別苦情処理件数〔単位：件〕（表 34）

項目・年度		25年度	26年度	27年度
典型 7 公害	大気汚染	5	12	7
	水質汚濁	4	1	5
	土壌汚染	0	0	0
	騒 音	13	18	14
	振 動	0	2	1
	地盤沈下	0	0	0
	悪 臭	5	4	6
そ の 他		38	50	87
合 計		65	87	120



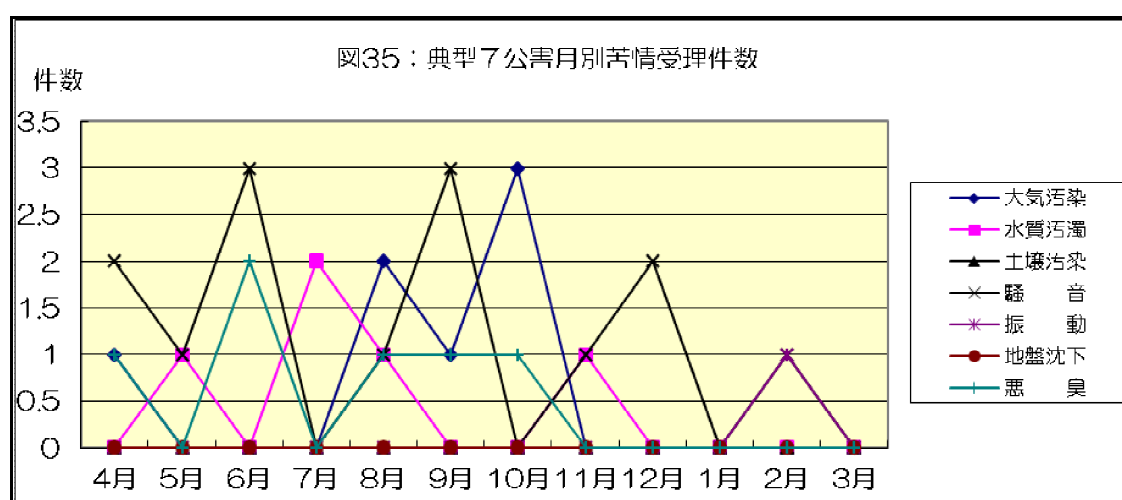
野外焼却の現場の様子



月別苦情処理件数（表 35 及び図 35 参照）をみると、6 月から 11 月くらいにかけて苦情が多く、冬期には少ないという傾向がわかる。前年に比べ、大気汚染と騒音に係る苦情は減少したが、水質汚濁に係る苦情は増加したという結果であった。

月別苦情件数（表 35）

項目・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大気汚染	1	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	7
水質汚濁	0	1	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	5
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	2	1	3	0	1	3	0	1	2	0	1	0	14
振 動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	1	0	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	6
そ の 他	1	4	14	18	12	19	7	8	1	0	1	2	87
合 計	5	6	19	20	17	24	11	10	3	0	3	2	120

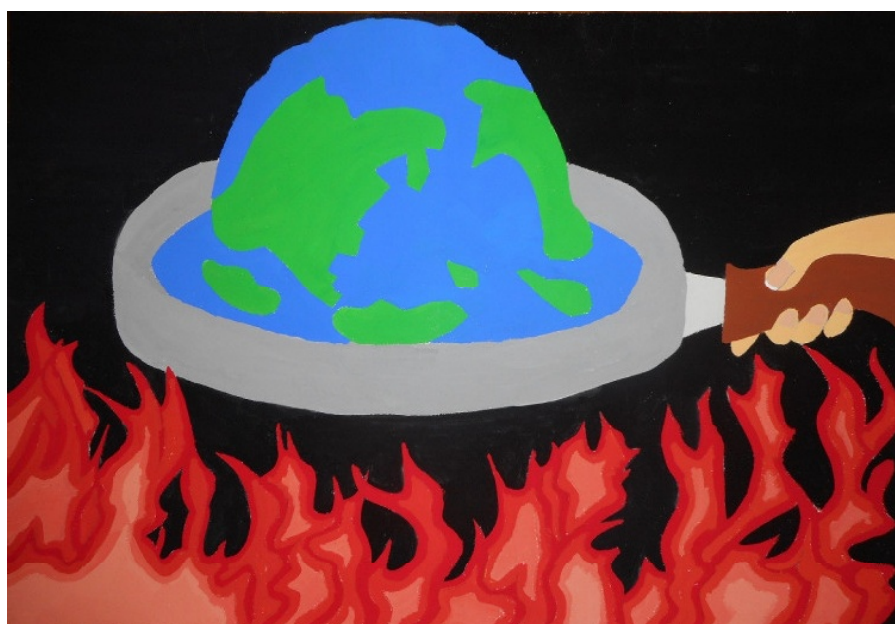


第3章 環境指標の把握と評価

第6節 ダイオキシン類



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 栄和化工賞 北中学校 染谷 保乃歌 さん



「環境フェスタみさと」環境ポスター展 生活協同組合コープみらい賞 瑞穂中学校 潮田 綾菜 さん

第 6 節 ダイオキシン類

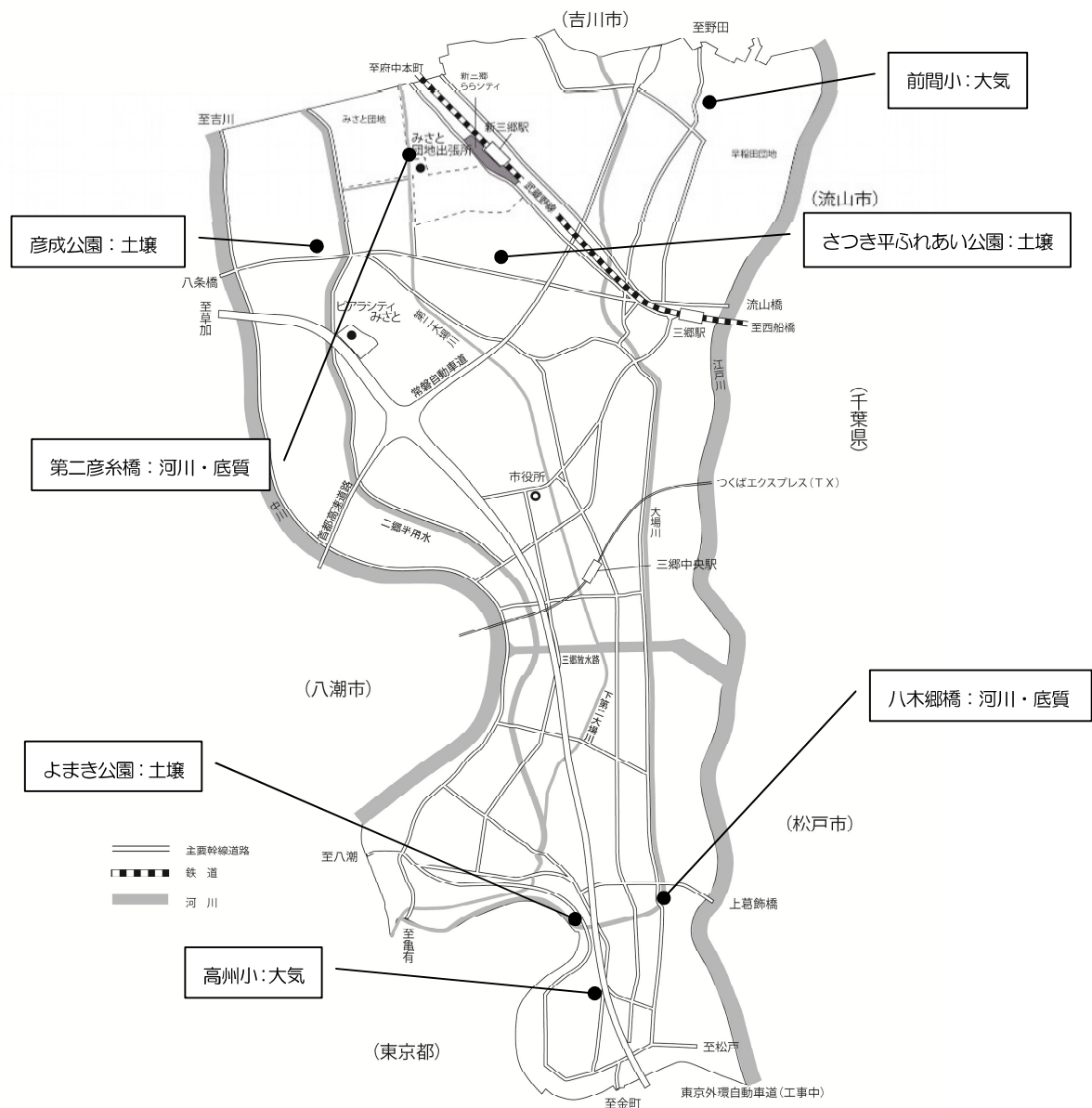
1 環境基準等

(1) 環境基準値

環境項目	単 位	環境基準値
大 気	$\text{pg-TEQ} / \text{m}^3$	0.6
土 壌	$\text{pg-TEQ} / \text{g}$	1,000
河 川 水	$\text{pg-TEQ} / \text{リットル}$	1
河 川 底 質	$\text{pg-TEQ} / \text{g}$	150
耐容1日摂取量	$\text{pg-TEQ} / \text{体重kg} / \text{日}$	*4

注：pg（ピコグラム）＝1兆分の1

(2) ダイオキシン類測定地点図



2 ダイオキシン類の調査

(1) 大気の測定結果と評価

大気中のダイオキシン類調査を2地点で各2回行なった。その調査結果は表36のとおりである。

大気中におけるダイオキシン類の環境基準（ $0.6\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ ）と比較して、2地点とも基準値を下回っている。

H27年度・ダイオキシン類（大気）測定結果

[単位： $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ （ピコグラム）]（表36）

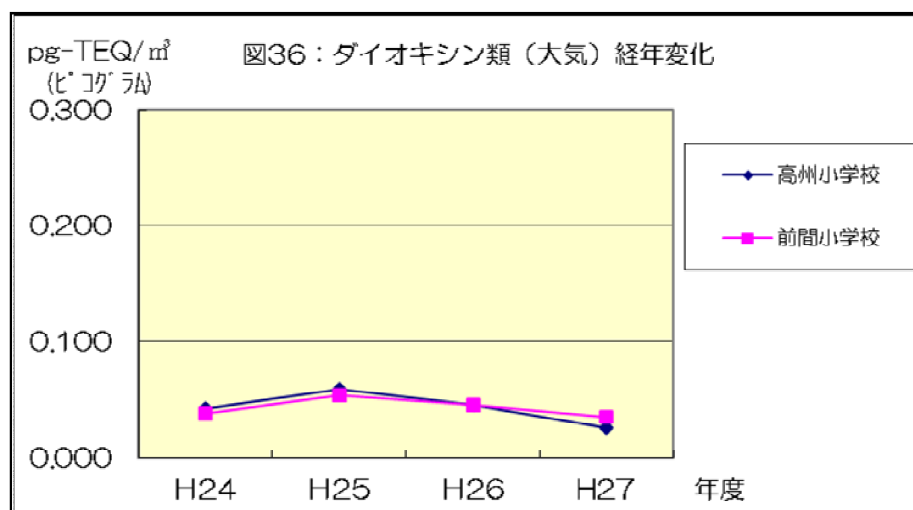
地点・年月	H27 7/29~8/5	H28 1/15~1/22	年平均
高州小学校	0.018	0.034	0.026
前間小学校	0.019	0.050	0.035



分析機関での分析の様子

ダイオキシン類（大気）経年変化 [単位： $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ （ピコグラム）]（表37）

地点・年月	平成25年度	平成26年度	平成27年度
高州小学校	0.059	0.046	0.026
前間小学校	0.054	0.046	0.035



(2) 土壌の測定結果と評価

土壌中のダイオキシン類調査についての調査結果は表 38 のとおりである。数値は 0.011～8.3pg-TEQ/g となり、3 地点の平均値は 3.4pg-TEQ/g となる。

土壌中におけるダイオキシン類の環境基準値（1,000pg-TEQ/g）と比較すると、測定値は基準値を大きく下回っている。

ダイオキシン類（土壌）測定結果 [単位：pg-TEQ/g（ピコグラム）]（表 38）

地点・年月	H25	地点・年月	H26	地点・年月	H27
におどり公園	3.4	におどり公園	3.9	よまき公園	8.3
さつき平 ふれあい公園	0.0037	戸ヶ崎 みなみ公園	3.4	彦成公園	1.8
		白鳥公園	1.2	さつき平ふれあ い公園	0.011

(3) 河川底質の測定結果と評価

河川底質中のダイオキシン類調査についての調査結果は表 39 のとおりである。調査場所は、大場川及び第二大場川のそれぞれ 1 ヶ所を調査し、平均値は 14.7pg-TEQ/g であった。

河川底質中におけるダイオキシン類の環境評価については、環境基準（150pg-TEQ/g）との比較では、それぞれの調査地点において基準値よりも低い数値であった。

ダイオキシン類（河川底質）測定結果 [単位：pg-TEQ/g（ピコグラム）]（表 39）

地点・年月	H25	地点・年月	H26	地点・年月	H27
大広戸橋 （大場川）	35	新和仲橋 （大場川）	7.4	八木郷橋 （大場川）	6.3
幸和橋 （第二大場川）	8.5	蓮沼橋 （第二大場川）	8.7	第二彦糸橋 （第二大場川）	23

(4) 河川水の測定結果と評価

河川水中のダイオキシン類調査についての調査結果は表 40 のとおりである。調査場所は、大場川及び第二大場川のそれぞれ 1 ヶ所を調査し、平均値は 0.93pg-TEQ/g であった。

調査地点 2 地点中 2 地点とも、環境基準値（1pg-TEQ/g）内であった。

ダイオキシン類（河川水）測定結果 [単位：pg-TEQ/g（ピコグラム）]（表 40）

地点・年月	H25	地点・年月	H26	地点・年月	H27
大広戸橋 （大場川）	0.92	新和仲橋 （大場川）	0.31	八木郷橋 （大場川）	0.87
幸和橋 （第二大場川）	0.12	蓮沼橋 （第二大場川）	0.64	第二彦糸橋 （第二大場川）	0.98

